

どこまで具体的にやれるかもっと詳しく説明を 空き家等対策計画改定案について農政建設常任委が調査

市議会農政建設常任委員会の所管事務調査が9日午後から行われました。チームは上越市空き家等対策計画の改定についてです。

同計画は平成28年11月に策定されましたが、今年度で計画期間が終了することから、これまでの取組の成果と課題を確認し、改定することになっています。

現行計画については、市空き家等対策協議会委員などから、空き家化「予防」の視点の欠如、「適正管理」「利活用」「予防」の各視点での広報が必要など指摘を受けました。計画案



では、こうした指摘を踏まえ、「予防」の追加、空き家バンクの位置付けの拡充、管理不全の空き家などへの行政指導における「面談」の追加などが盛り込まれる予定です。

委員会では、都市整備部から同計画改定案の説明を受けた後、「自分や親の生家などへの移住の促進についてどう考えているか」「中山間地域にはお試しハウスがあるが、街中版お試しハウスを考えてもいいのではないか」「相続放棄しても相続人が直ちに管理責任がなくなるわけではないことを視野に入れて対策をとっているか」「空き家には経済的な問題や相続関係の複雑さなどの背景がある。どこまで具体的にやれるかもっと詳しく説明をしてほしい」などの声が出ていました。

市は今後、改定案をパブリックコメントにかけ、来年4月1日には新たな計画をスタートさせたい考えです。

市内4会場で議会報告会

市議会主催の議会報告会・意見交換会が清里、吉川、三和コミュニティプラザ、レインボーセンターで行われました。

今号では吉川コミュニティプラザで行われた議会報告会・意見交換会の様子をお知らせします。議員や行政職員を除く市民の参加は16人でした。

常任委員会などからの報告の後、参加者からは、
●イノシシは多産とのこと、その対策



【センボンヤリ】キク科の多年草です。漢字で「千本槍」と書きます。別名は「ムラサキタンポポ」。花には春型と秋型があり、写真は秋型です。秋型の花茎は30センチ～60センチの高さになります。秋型の特徴は花が開かないこと（閉鎖花）、それゆえに槍のようになっています（写真の左側）。果実の上端の毛状のものが開くとタンポポそっくりになります。写真は11月7日午前、吉川区代石にて撮影。

はどうするのか。

●780kmの電気柵の大半は柿崎と吉川である。このまま増えるといかかなものか。対策はないか。

●イノシシやクマが人里にやってくる原因はいろいろだが、山を荒らしている農業を是正することが大事だ。森林環境税もあるが、山を整備することが被害を減らす手立てになる。

●公の施設の再配置の方向性案が示された。各議員はどのような認識か。

●吉川では旧小学校が公民館の分館になっている。いくつかの町内会がそこを拠点に公民館活動などを行っている



吉川会場

る。今回地域に了解を取りながら廃止、譲渡、貸し付けの選択を迫っている。しかし、譲渡は建物の処分費用が出せないのでありえない。貸し付けにしても実際にはむずかしい。

●東田中分館は旧東田中小学校の体育館であり、牧区の川上笑学館と同様な貴重な建物である。ここだけではないが、この建物は重要な建造物であることを認識してほしい。廃止は重要な財産を破壊することになる。

●県立柿崎病院の問題だが、他市の病院に比べ、上越の議員の動きが鈍い。命を守ることは何よりも大事であり、赤字だからという問題ではないが、どのような認識か。

●集落センターのそばに消防の乾燥塔があるが、撤去を要請してもそのままである。

などの発言がありました。

私は今回は受付として参加していましたが、やりとりを聞いていて、鳥獣被害対策では直接的な対策だけでなく、山が荒れていることについての対策の重要性が示されたこと、県立柿崎病院の存続に向けての市議会の動きが鈍いとの指摘、東田中の体育館は建造物としても貴重なとの指摘に注目しました。やはり、こういう会はやるべきですね。

はしづめ法一の活動レポート

No.1985 2020.11.15

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一

検索

どこまで具体的にやれるかもっと詳しく説明を 空き家等対策計画改定案について農政建設常任委が調査

市議会農政建設常任委員会の所管事務調査が9日午後から行われました。テーマは上越市空き家等対策計画の改定についてです。

同計画は平成28年11月に策定されましたが、今年度で計画期間が終了することから、これまでの取組の成果と課題を確認し、改定することになっています。

現行計画については、市空き家等対策協議会委員などから、空き家化「予防」の視点の欠如、「適正管理」「利活用」「予防」の各視点での広報が必要などの指摘を受けました。計画案



では、こうした指摘を踏まえ、「予防」の追加、空き家バンクの位置付けの拡充、管理不全の空き家などへの行政指導における「面談」の追加などが盛り込まれる予定です。

委員会では、都市整備部から同計画改定案の説明を受けた後、「自分や親の生家などへの移住の促進についてどう考えているか」「中山間地域にはお試しハウスがあるが、街中版お試しハウスを考えてもいいのではないか」「相続放棄しても相続人が直ちに管理責任がなくなるわけではないことを視野に入れて対策をとっているか」「空き家には経済的な問題や相続関係の複雑さなどの背景がある。どこまで具体的にやれるかもっと詳しく説明をしてほしい」などの声が出ていました。

市は今後、改定案をパブリックコメントにかけ、来年4月1日には新たな計画をスタートさせたい考えです。

市内4会場で議会報告会

市議会主催の議会報告会・意見交換会が清里、吉川、三和コミュニティプラザ、レインポーションセンターで行われました。

今号では清里コミュニティプラザ及び三和コミュニティプラザで行われた議会報告会・意見交換会の様子をお知らせします。清里では議員や行政職員を除く市民の参加は約30人、三和では約20人でした。

まず清里区です。常任委員会などが



【センボンヤリ】キク科の多年草です。漢字で「千本槍」と書きます。別名は「ムラサキタンポポ」。花には春型と秋型があり、写真は秋型です。秋型の花茎は30センチ～60センチの高さになります。秋型の特徴は花が開かないこと（閉鎖花）、それゆえに槍のようになっています（写真の左側）。果実の上端の毛状のものが開くとタンポポそっくりになります。写真は11月7日午前、吉川区代石にて撮影。

らの報告の後、参加者からは、
●クマ出没被害は例年より多発している。（先日）被害者はいまなお入院している。対策を強化してほしい。
●中学校は地域自治区を超えた統合を考える時期にきているのではないかと、
●（産業建設グループを集約したなかで）いまの防災対策でいいのか。
などの声が出ていました。

●公の施設の再配置では利用実績など数字を使って進めようとしているが、もう少し、住民目線に立ってどう利用していけばいいのか一歩突っ込んでの議論が必要だ。
●鳥獣被害は三和区ではさほど出ていないが、有害鳥獣が出没しにくい環境づくりを。
●三和区地域協議会で小学校統合に関して意見書を提出している。文教経済常任委員会と教育委員会で協議しているのか。
●井ノ口と上杉小学校校間の通学路の安全点検をしっかりとやらしてもらいたい。
●雨が降って傘をさすと白線の道路側に入ってしまう。冬は凍ったときが極めて危険だ。
●人口が減少しているなかで議員定数は現状維持となっている。検討すべきではないか。
●会派のあり方にルールが必要なのではないか。我々はこの会派に所属するかを考えて投票してはいない。請願、陳情など市民の側に立って判断するルールを持たなければならぬのではないか。



清里会場

●今回は農業、農政についての報告がないのは残念だった。
出された意見、要望などは今後、市議会の課題調整会議で検討します。

はしづめ法一の活動レポート

No.1985 2020.11.15
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら
橋爪法一 検索

春よ来い

第六三二回

赤い半纏

やはり、居間の電動イスには座る人がいた方がいいです。今月七日、電動イス利用者の母が久しぶりに家に戻ってきました。

今回は一泊二日です。この日の夕方五時半過ぎに家に帰ると、母はすでに介護施設から家に来ていました。

居間の電動イスに座った母は赤い半纏(はんてん)を着ていました。この半纏は、母が家に帰ってきたら着てもらおうと家の者が購入し、電動イスの上に置いてあったものです。母がこれまで着ていた青い半纏に比べれば少し大きめですが、色のせいでしょうか、いつもよりも母の顔が明るくなって見えました。

七日の段階で、わが家では「コタツを出していたものの、まだストーブは使っていませんでした。それが気になり、母にたずねました。

「寒くねかね」

「寒くねえよ、「コタツ入ってるもん」

母の言葉を聞いて安心しました。

しばらくすると、わが家のネコが居間に入ってきました。母にとって、ネコは孫のような存在です。一方、ネコも母が気になっていました。母が留守のときも、ときどき母の部屋に入っていましたから。

電動イスのすぐそばをゆっくりと歩くネコに気づいた母は、「イーコ、イーコ、イーコ」と言いながらネコの背中をなでていました。

母と比べると、わが家のネコと私の一緒に時間は少なく、長くても一日三〇分くらい。それだけに私に警戒心を持っていません。ネコは私の姿を見たとき、目を大きく開けていました。それに気づいた母は、

「とちや、おっかねがが」

とネコに向かって言いました。

夕飯後、母は、電動イスに座ってテレビをずっと観ていました。豆腐屋さんの映像が出てきたところで、母は急に、愛知県に

住む弟のことを思い浮かべたらしく、

「ツトム、愛知には魅(ひ)、ないすけ、米山大橋のところで、魅、買っていったな」と言いました。

この母の言葉を聞いて、「そうだ、弟たちに赤い半纏を着た母の姿を見てもらおう」、そう思いました。そして、二人の弟たちにテレビ電話しました。

まず、愛知の弟です。スマホを母の前に置き、母と弟、そして私の三人で話をしました。

「かあちゃん、きょうは家かね、おまん、いい顔してんねー、色つやいいわ」

「なしたー」

「色つやいいだ」と

「ほっか、変わらんでもな」

赤い半纏を着た母の姿は愛知の弟にも華やいだ感じに見えたようです。どうあれ、母も弟もスマホの画面で笑顔いっぱいになりました。

大湯在住の弟は風呂から上がったばかりでした。

「ばちや、おまんの夢みたよ。ナナトリで草刈りしてたすけ、一緒に帰ろさ」そうして帰ったが……」

と言って、母を喜ばせしてくれました。

耳がずいぶん遠くなり、時どき、私が会話の中継ぎをしなければなりませんでしたが、二人と話して母は満足したようです。テレビ電話を切ると、私に言いました。

「いいもんだない、あいら来ねがに会われんがすけ」

この夜、私は赤い半纏を着た母の写真をインターネットで発信しました。すると、「赤い半纏、お似合いです」「新しい物を買ってもらおうとうれいすよね」「嬉しいなります。上手く言えませんが、ただ、嬉しいんです」などといったコメントが寄せられました。母には、この赤い半纏を家で何度も着てもらいたいものです。

吉川区尾神の蛭場地内でもクマの爪痕

私の故郷、吉川区尾神(その一番低い地域にある「蛭場」)に10日の午後、行ってきました。

出かけたのは、クマが柿の木に登ってつけた爪痕を見ておきたかったからです。市役所職員さんなどが確認した木は所有者から教えてもらい、すぐわかりました。幹の太さが直径で25センチほどの若い木であつたのには驚きました。幹に残された「ひっかきキズ」は深く、クマの恐ろしさを感じさせるものでした。

蛭場では、昔から美味しい村屋柿(甘柿の王様だと思っています)がとれます。ひよっとすれば、わが家がハサ場に使っていた柿の木も思



い、見に行きましたら、やはり爪痕がありました。もう70年以上経っている柿の老木ですが、2本、やられていました。

市内では先日、清里区東戸野でクマによる人身被害がありました。みなさんの近くにもいるかも知れませんが、警戒を強めてください。

日本共産党議員団主催の市政報告会・意見交換会を20日午後6時半から直江津学びの交流館多目的ホールAで行います。ぜひお出かけください。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月4日(水)	11月11日(水)
上越南消防署	0.053	0.050
上越北消防署	0.057	0.040
新井消防署	0.053	0.047
頸北消防署	0.057	0.043
頸南消防署	0.057	0.067
東頸消防署	0.057	0.050
名立分遣所	0.057	0.057
高士分遣所	0.063	0.050